

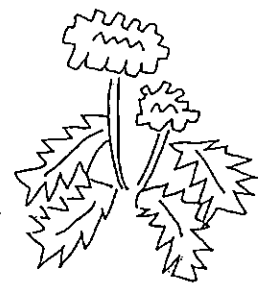
たんほほ

NO 1 4 0

H11年2月1日

— 発行 —

〒869-1217
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
☎096-293-8100



全国自閉症者施設協議会

園長 松田 健

昨年十月二十二、三日に兵庫県で行われた全国自閉症者施設協議会の冊子が届きました。驚くことに故田中 稔施設長のレジメも刷り込まれていました。パネラーとして発表予定だったのですが、八月に急遽入院され、その時に発表を辞退しました。しかし、原稿は四カ月も前に送られていたためそのまま記載されたようです。期日、期限内に届かなかった施設長が僥げられます。しかも当日、あさけ学園の奥野園長が代読され、好評を得たとのことです。その四日後、施設長は永遠に旅立たれました。

紙面の都合上、二回にわたってその全文を掲載します。

自閉症者施設の運営について

三気の里 施設長 田中 稔

「三気の里」は、自閉症を中心

とする入所更生施設として昭和六二年に開所しました。現在、定員八〇名（内重度定員四〇名）です。設立趣意書に「三気の里」は、

「一人の人間としてふさわしい生活の場」であり、「一般社会との連帯の中で、その療育法を研究、模索する場」であると明記されています。私共は、施設をその子にとって完結型とも、通過型とも捕らえていません。今現在、目の前にやらなくてはいけないことが山ほどあります。それを一つ一つやっけていくという姿勢をとっています。以上のことを踏まえて、自閉症施設の運営について述べてみたいと思います。

☆ 入所者関連事項について

現在、八〇名入所者の内訳は、A認定六十六名、B認定十四名でこれらは定員四十名をはるかに越えており適切な園生処遇、職員処遇の妨げとなっています。かかる

状況に至った理由は他の施設では対応が困難という理由で措置の押し付けがなされた結果です。

入所に当たっては、当施設の設立趣旨、処遇等について説明し、納得して選んでいただくという形をとっていますが、実情は行政の押し付けであり、保護者にとっではいれるのであればどこでも良いというのが本当のところであろうと思います。ましてや園生の意志でもなければ、選択でもありません。同時にほとんどの園生はその能力をもっておりません。

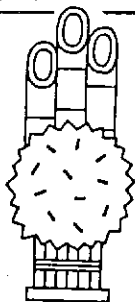
当施設では、毎週土曜、日曜、園生の約半数が帰宅しますが、その時の嬉しそうな、生き生きとした顔を見ていると、いろいろな意味で本人にとっては園より家のほうが好きだし、楽しいのであろうということは想像されます。

最重度のA一、五十名の入所者も生活のリズムを一定にし、分か

りやすいものになれば（今流行の言葉で言えば、構造化↓パターン化）施設での生活、集団行動等は出来ていきますし、施設の外へも行けるようになります。五班集体で行っている作業（その程度かと言ふ意見とこれでも良くやっていると）も何とかが成り立っていきます。それでは、こうした生活や作業をとおして自己コントロール、コミュニケーション、行動の能力が引き出され、伸びて当施設を卒業するといった形で巣立った園生は、十年間に一人もいません。

又、施設を社会と見た時、B1、十五名の入所者が集団生活の接着剤の役割を果たしていますが、これを社会に戻して全員A1の自閉症で生活集団が成り立つのか、社会集団と言えるのか、一方B1の人達はそれでいいのか、本人たちの気持ちは別の生活を望んでいるのではないかという意見があるのかと思えます。（以下次号へ続く）





班にゆす



4班・THE・新年会

明けましておめでとうございます。年が明けてから、厳しい寒さが続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、私たち農耕班は去る1月18日（月）に、保護者の方と一緒に芦北郡津奈木町「四季彩」にて、新年会を行いました。保護者の方も一緒という事で、皆の顔もニコニコニコ…。片道高速で1時間、高速を下りて1時間…と、少々長旅ではあったのですが、職員も皆も保護者の方も（？）お互いに励まし合いながらバスに揺られて行きました。

新年会では、新年の挨拶よりも超豪華料理に夢中だった、信ちゃん・創さん・潔くん・隆博くん・新ちゃん・泰くん・浩ちゃん。だーい好きな温泉で大はしゃぎだった、高志くん・るり子さん・藍ちゃん・久美ちゃん。温泉に早く入る！と待ちきれなかった英輔くん。お母さんが先に温泉に入ったのでしばらく怒っていた一裕くん。お母さんと一緒にご飯を食べてニコニコ笑顔の猛くん。せっかくの御馳走…ゆっくり食べなきゃ損！とゆっくり食べていた緑恵ちゃん。（今回は風邪で、参加出来なかった聡くんも早く元気になって一緒に遊んだり、作業も一緒に頑張りましょうね！農耕班一同楽しみに待っています！）超豪華料理でお腹も満足、温泉で身も心もスッキリ、サッパリした後はドライブしながら帰って来ました。

今年も、暑さ、寒さ、アメニモマケズ、カゼニモマケズ…。農耕班は野菜作りを頑張っていますので、今後とも宜しくお願い致します。

P、S 巷では、インフルエンザ・風邪が大流行していますが、皆様は風邪などひかれていないでしょうか？園でもインフルエンザ・風邪が流行しています。皆様も風邪には充分にお気を付け下さい。…今年のインフルエンザはタチが悪いですよー。ただ今インフルエンザ続行中の私が言うんだから間違いありません。…

広瀬

5班・今年はい...

新年明けましておめでとうございます。本年も三気の里&5班（園芸班一同）よろしくお祈りします。今年もいよいよ1999年が始まりました。今年、正月初めからTVでも噂されているインフルエンザが流行して三気の里も数名高熱を出している園生がいます。皆さんはどうか、インフルエンザにかかられていませんか？外から帰った時には、1にうがい、2に手洗い、3・4がなくて、5にゴトウ散を飲んでください。これであなたも健康体です！（档札）とまじめな話になってしまいましたが。皆さんカゼにはくれぐれも気をつけてくださいね。

さて次に今年の5班の目標ですが、今年の5班の目標は三気の里周辺にたくさんの花を咲かせることを目標にしたいと思います。現在も着々と花の苗が育って来ています。是非、皆さん玄関の前に並んでいる苗がありましたら買って下さい。そして家の庭にでも綺麗な花を咲かせて頂けると園芸班一同嬉しいです。

今年一年園芸班一同よろしくお祈りします。

緒方

1 班 - 「願い、事は？ …」

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

長期帰宅も終わり、すこしふっくらした面々の総勢17名のパッキン班は1999年、三気の里の皆が幸せに健康で過ごせますように…と、1月21日三の宮神社・荒神に初詣でに行って来ました。まずは三の宮神社でお参り。お社につき、賽銭を投げ、大きな鈴をガランガランと鳴らして、手を合わせお願い？！ごとをしました。皆お参りよりもお腹がすいていたようで、お昼は【焼き肉】【カツカレー】【ラーメン】等々、個々食べたいものをブツブツ言いながら、三の宮神社を後にしました。そんな皆の願いは、その後に行ったフードパルにて叶ってしまったのも、言うまでもありませんが、

皆が、思い思いにかけた願い事、叶うといいね。

今年も皆で仲良くのんびりと、頑張っていきましょう。

麻生

2 班 - お正月

明けましておめでとうございます。年々、園内での挨拶回数が増えています。今年始めて園で正月を迎えた正樹くんは、帰れないことが解っていても、つつい愚痴を言いたくなるようで、職員を困らせていました。しかし、園に残る人達の為に色々職員も考えて退屈しないよう心配っています。元旦の日は三社参り、と言っても近所で済ませているのですが、正樹くん達にとっては外出出来たことがとても楽しかったようです。感想は、と尋ねると言葉少なに「よかったです」。2日は初顔合わせとって、正月恒例のゲームをして楽しみました。書き初めでは「ビスケットかう」とストレートに自分の気持ちを書き表していました。昼食は、おせちではなく、屋外でのバーベキュー、「肉ばかり食べた」と普段とは違って制約されない楽しい昼食のようでした。3日からは、皆が少しずつ帰って来て園内もいつもの賑やかさが戻って来ました。正樹くん、寂しいかもしれないけど、三気の里の正月も楽しいでしょう？

田邊

3 班 - 「みんな一緒に…。」

今年の冬は雪が降るほど寒さが厳しい日があったかと思えば、防寒具が要らないほど暖かい日があったりと、変わった気候だと思われる今日この頃ですが、三気の里でもこの気候のせいか風邪が流行しています。そのような中、私達木工班のみんなは1月19日（火）元気いっぱい（約4名を除いて）加藤神社へレクリエーションに行きました。

当日はあいにくの雨、また4名（職員1名、園生3名）の風邪ひきさんを三気の里に残しての出発。そんな沈んだ雰囲気の中、上熊本にあるフードパルでの昼食、食事を目の前にすると、みんなそんな気持ちも吹き飛びます。お腹もいっぱいになったところで今日の一番の目的である初詣に行きます。

加藤神社に到着すると私達が来るのを待っていたかのように、今まで降っていた雨もウソのように上がり、みんなで手を合わせ（何を願ったかは分かりませんが…）お参りました。

さあ、今日の日程をすべて終了したところで4名の待つ三気の里へ、帰るとそこにはお留守番の4名が恨めしそうに、また風邪のため力無く私達を迎えるその瞳に、ごめんさいと思った人が何人いたのでしょうか。そのようなことで今月のレクリエーション終わりを告げました。

来月はみんな揃ってレクリエーションに行きたいね。

山口



研修報告

田之上 健一

平成11年、新年の新しい幕開けとなりました。去年は施設長が亡くなられるという心痛ましい出来事があり、我々職員、施設関係者にとって大きな大黒柱を失い、地に足がつかない不安定な状況であります。しかし故田中施設長の意志を引き継ぎ、前進して行く覚悟です。職員としてプロ意識に磨きをかけ、実践していかなくてはいけないと思います。

去年の12月、研修に参加する機会を与えて頂きました。東京にて行われた自閉症実践療育セミナーで3泊4日間密の濃い幅の広い講義内容で、自閉症の概念、診断などから入り、生物学・遺伝学や心理学、各施設・学校での実践報告から海外での実況報告、就労問題、自閉症最近の話題など豊富な内容は興味深いものでした。その中で親の立場から『アメリカの教育と比較して』という題で講演された内容を紹介したいと思います。ある家族の方が、お父さんの仕事の関係でアメリカのウイスコン州都

マディソンへ家族とともに、1年間滞在された体験を発表されました。子どもさんは重度の知的障害と自閉症を合わせ持つ11歳の男子でした。まず、飛行機に乗ること、移動時間が長いという事で不安定になる要素は十分で、なおかつ環境の変化などでイライラしているとき、入国管理の審査で質問にお父さんは、『自閉症児です』と答えると、あっさり受け入れてくれたという事でした。アメリカでは理解されているし、多国籍国家というお国柄もあるのか特別視されず、周囲の人達もすぐ受け入れてくれると言う話でした。

アメリカの特殊教育を受けるにあたってはまず、複数の専門領域からの評価を受け、子どもに必要なと判断された専門性のある人達が選ばれチームを作り、どんな教育プログラムが必要かを明かにします。ただ一人の為に行います。専門家も定期的に関わりを持ち続け、多様な個別指導(コミュニケーション指導、調理や掃除、遊び方、スポーツ等)。日本はその場限りで、単に行き先を決めるだけではない

かと辛口のコメントもありました。本人に合わせたもので、集団や行事に合わせたものではなく、個人からのスタートであるということ

が大切で、親も重要な役割を持ち教育の効果を実生活に応用し広げて行く場所は、家庭を基本単位とする地域社会であるということ、又アメリカでは支援体制が整っており、個人のニーズを大切に、親の負担も軽かったという事で

した。自閉症の人ほど誤った指導法の影響が出やすい障害はなく、幼い頃より個人に合ったものでない程と、予後は比べものにならない程であり、それ程専門性の理解を要求されるものであるという事です。教育終了後も地域雇用制度などで就労へのサポートもされて地域社会参加もでき、長期休暇中も公的な活動にアシスタントがつくそうです。サービズ業としての教育を

実践し、又利用者が指導者を評価するシステムもあり、日本との差を感じましたが文化が違うというのは言い訳で指導者側もプロフェッショナル感を高め、達成感を与え、結果的にすべての人が楽になり満足できる。この様になりたいと思

いました。端的でうまく伝えられませんでした。今できること、ニーズにあったよりよいケアを考えていければと思います。



成人式

保護者 鶴崎 富士代

成人式と言っても、甘えん坊の大介、私も何か体は大きいけどまだ可愛くてしかたありません。でも、松田園長先生・田之上先生に付き添っていただき式場へ。勇壮な大津太鼓で迎えられ、周りの艶やかな女性達に囲まれ大介も満足だったことでしょうか。どうか親の心配をよそに大人の仲間入りをしたんだなあと、子供の頃の様子子が走馬灯のように浮かんできます。御馳走を沢山味わいながら一時間半もかけて食べて、健軍神社へ参拝させて頂き、とても感激いっぱいのお祝いをしていただき、早朝から一日本当にお世話になりありがとうございます。背広姿のステキな松田先生・田之上先生ももちろん大介もでした。

クリスマス会

八木 良江

街のあちこちでジングルベルの音楽が流れるなか、12月24日三気の里でもクリスマス会が行われました。今年は、新しくツリーも買いました。天井まである大きなツリーです。食堂に来てはジッと眺める人、飾りを触っている人、何だろうかと、不思議そうに眺めている人、それぞれでした。クリスマス会はと言いますと、園芸班の皆が、食堂をクリスマス一色に装飾してくれ、パーティームードでいっぱいになりました。今年はサンタクロース(木下指導員)のほかにトナカイ(山口指導員)「全身茶色で塗りました。」の演出もあり、又ベルの演奏では峯さんがギターをひいてそれに合わせてのきよしこの夜が演奏されクリスマスらしい雰囲気の中「メリークリスマス」 という声とクラッカーの音で食事になりました。食べている途中プレゼントを一人ずつ渡したのですが、喜びも様々。大声を出して喜ぶ人、跳びはねて喜ぶ人、静にニヤニヤして喜ぶ人、食べることに集中して、プレゼントは二の次という感じの人、等々。

もらったプレゼントを食堂に忘れていた人もいました。2時間という少しの時間のクリスマス会、今回は少し簡素化して行ったのですが、中身は十分(？)だったと思います。来年はもっと盛大にできたらなあ。最後に実行委員、ごちそうを作ってくれた厨房さんお疲れさまです。
HAPPY HAPPY ME
R R Y C H R I S T M A S T
O Y O U
新入園生紹介
眺くん
一月五日に眺くんが入所してきました。三気の里に実習に何回か来たことがあるので、名前と顔を覚えていた人も多と思います。ちょっと恥ずかしがり屋18歳の男子の子です。所属は園芸班です。お友達が増えて園芸班の人達もとても喜んでいきます。眺くんも三気の里の生活にだいが慣れてきたようです。今、園芸班の人達と一緒に寒く外で落ち葉拾い等をしていきます。これからもっと寒くなっていくけど、風邪なんかには負けずに一緒に頑張ろうね。



倉良尚生 岩白 豊 末 中

新年が始まりました。最近は一

段と寒さが厳しくなり、厨房での水仕事はますます辛くなりますね。ところで一月から眺くんが入所して来ました。私は今のところ食事の時しか顔を合わせることはないのですが、まだ話したりしてません。まだ慣れていないせいかな御飯などを持っていく時もそーっと取ったりして、とてもかわいいです。片付けもきちんとしているようです。今年もおいしい食事を作っているように、厨房一同頑張りたいと思います。

堀尾



餅つき大会

笠松 正秀

去る、12月18日に三気の里では餅つき大会が行われました。天気にも恵まれ楽しくできたと思います。朝早くから職員の方が火をおこしたり、もち米を蒸したりと；皆が、走って来る頃には、もう準備万全。いざ餅つきです。みんな力を合わせ餅をついたり、引っ繰り返したりと楽しんでいました。ついたお餅は、好みの具

をつけて食べました。黄な粉や、砂糖醤油、海苔を巻いたり、キムチを巻いたり(キムチは以外と美味しかったですよ。)と種類は色々でした。今度は何を巻いて食べようかな...と思う今日この頃です。

笠松



事務室だより
お正月も終わりやっとならしくなりました。今日この頃ですがいかがお過ごしでしょうか？

今回は、洋一君のことをかきまです。私が三気の里で働き初めて三日目の事です。出勤して事務室の鍵を開けると走ってきて突然「橘口知加子さん。」とフルネームで呼んでくれました。とても感動しました。と同時に「負けたぁ」と心の中で思いました。洋ちゃんと覚えていましたがフルネームはまだ知らなかったからです。慣れない私へのなによりもの励ましの言葉でした。洋ちゃんありがとう。

橘口

(後援会ありがとう)

山室篤信・塚本謙二・山口悦子

※敬称略

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
	1	2	3 節分の日 武文くんの誕生日(32) 森川くんの誕生日(28)	4	5	6	
7	8	9 3班レク	10 典くんの誕生日(29)	11 建国記念日 保護者懇談会	12	13 保護者会	
14	15	16 2班レク	17	18 誕生会 1班レク	19	20 明日香さんの誕生日 (21)	
21	22	23 5班レク	24	25 4班レク	26 / たんぽぽ編集日	27 民さんの誕生日(54) 帰宅バス	
28	武文くん・森川くん・典くん・明日香さん・民さん誕生日おめでとう! ※ 11日(木)保護者懇談会 白川ラインマラソン 13日(土)保護者会 18日(木)誕生会 / 26日(金)たんぽぽ編集日 27日(土)帰宅バス 28日(日)白川ラインマラソン 18日(木)1班レク・16日(火)2班レク・9日(火)3班レク・25日(木)4班レク・23日(火)5班レク						



ボランティア通信

新年明けましておめでとうございませう。今年も宜しくお願ひします。皆様はどのような新年を迎えられましたか。今年も皆様にとって素晴らしい1年であることを願っています。さて、三気の里では、冬季帰宅訓練が終わり、ふっくらとした様子で(御馳走をお腹いっぱい食べたのでしようね。)帰宅し、いつもの騒がしさが戻って来ました。新しい年のスタートです。今年も精一杯頑張ってくださいませう。ボランティアの皆様、今年も三気の里へ遊びにいらして下さい。園生・職員一同心よりお待ちしております。詳しくはボランティア担当の麻生・植本まで御連絡下さい。

《ボランティアありがとうございます》 植本千

☆散髪 坂本 シマ子
☆生け花 西村 栄子

初顔合わせ

佐藤 香織

まずは、謹んで初春のお喜びを申し上げます。

毎年恒例の初顔合わせ会ですが、今年はずっと思考を変えて寒空

の下でのパーベキュー大会となりました。お正月でもたまには外に出なければという単純な発想から決めたのですが、意外にもこれが大成功となりました。パーベキューの片手間に、たき火で保護者の方に教えてもらいながら焼きイモ、焼きモチ、焼きタマゴまで楽しむ事が出来ました。お腹いっぱい後の書き初めや福笑いの作品は、食堂に展示してあります。是非ご覧下さい。また、来年の初顔合わせ会には、大勢の皆様のご参加を期待しております。

お礼

クリスマス会でジャスコ大津店様、YMCA様より寄付を頂きました。有り難うございました。



後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

振振り込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会後援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54-2

一口 3千円